

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミラカチ・ジョイ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちや保護者の方の力になりたい！ という想いで動ける職員が多いこと。	職員に対して方針や想いの共有を積極的 かつ日常的に行っている。	体制が今後変わっても方針がぶれないように 工夫をしていく。
2	子どもたちの「好き」から遊びの幅を広げて、できることを増 やすことができるように職員で常にかんがえて支援をしてい る。	子どもたちだけでなく職員の表現も大切にしている。	研修計画をしっかりと作り職員育成にさらに力を入れていく。
3	どのようなことでも親身になって迅速に対応できること。	常に相手の気持ちになることを意識して動くようにしている。	職員同士でも思いやりをもつことを大切にしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもと活動する機会がすくない。	日常の支援での交流が難しい。(外出が難しい等) 交流先がすくない。	・外出ができる体制づくり ・保育園や幼稚園等との交流ができるよう関係性を構築して いく。
2	勤務時間が一律でないため全員で支援について 日常的に話す機会が取りにくい。	職員の欠勤や欠員などで人数が足りない時があったり、 共有が十分にされていないことがある。	共有ノートやホワイトボード等を活用し、しっかりと周知を していくようにする。余裕の持てる人員配置にしていく。
3	関係機関と連携した情報等を職員間で共有することがなかなか できない。	全職員がそろえることが難しいので情報共有の工夫を考える。	ファイルを項目ごとに作成する等工夫をしていき全職員に情 報が共有できるように工夫していく。